

# 会員だより

## 『人生会議』って

何ですか？

地域医療の医師である難波繁伸先生を講師としてお迎えし、高槻現代劇場でシニアクラブ連合会主催の講演会に参加しました。

人生会議とは、認知症などにより、意思決定が難しくなった時のために、あらかじめ受けたい医療や介護、延命処置などについて家族や医療職、介護職と話し合っておく「アドバンス・ケア・プランニング通称（ACP: Advance Care Planning）」のこと



人生会議は 家族と共に考える

ですが、なじみがないのが実情です。

厚生労働省は、ACPを「人生会議」と名前付け、国民への普及を図っています。

2017年12月に実施した「人生の最終段階における医療に関する意識調査」では、これまで考えたことがある人は、一般国民では20.3%、これに対して介護職員は、79.9%が考えたこと

とがあると回答しています。

しかし、『人生の最終段階の医療』について、話し合っていない方が多く、その理由を尋ねると、「話し合うきっかけがなかった」と難しい問題であることも分かります。特に日本人は、子どもたちに依存する傾向も外国より強い気がいたします。



医療・介護・福祉の専門職の方とも相談しましょう

## 会報「VG 槻輪だより」 全面複写可

VG 槻輪の会報「VG 槻輪だより」は、高槻市の全図書館（5館）で、創刊号から自由に閲覧できるようにしています。

時々図書館より、会報「VG 槻輪だより」のコピーをとりたいと閲覧者からの要求がありその都度連絡を頂きます。

今年に入ってから連絡あり、1月20日に全部コピーしたいとの方もいました。

会報「VG 槻輪だより」は、VG 槻輪のホームページに電子データでA4サイズの.pdf データを簡単に取り出せ、印刷し易い様に編集しています。

会報「VG 槻輪だより」は、原稿作成時及び発行前に、特に「わがまち紹介」活動の訪問先には必ずこの件を伝え、原稿のチェックと印刷前のチェックとホームページ掲載の了解を得て発行しています。

今回、高槻市中央図書館の会報の表紙に右下写真の様に「全面複写可」のラベルを張って頂きました。

勿論複写する方は、図書館にコピーの「要求者氏名」と「どこをコピーしたか」の書面提出は必要です。

VG 槻輪 会長 大岡 成一



『上り坂・下り坂・まさか』ですが、この「まさか」



もしもの坂

私のお姑は要介護5で7年間寝たきりでした。それまでは口では、「延命治療はやめて！」と言っていました。がきつちりと書いて残さなかつたため、最後は「皆がいいように」と言いつつ胃ろうした結果、その後の7年間、好きな羊羹も口にできず、いきながらえましたが、私はとても複雑な気持ちでおりました。

私は、その状況に自分の生き方は、きつちり決めておかなければならないと、書面にて残すことにしました。自分にとつても家族にとつても触れたくないかもしれないが、決めておくに越したことはないと思ひ、姑が入院してから2週間目に、エンディングノートとして、20年前に書きました。今回、「人生会議」の講演に参加して、更に書き直しました。

難波先生は、世間では人生には、3つの坂があると言われています。



多職種チームであなたをサポートします

家族と医療・介護者と一緒に繰り返して話し合い、共有する取り組みを、ACPの名称で厚生労働省は広めようとしております。

先日、「VG 槻輪」の会員で96歳のMさんのことをお聞きして感動しました。ご自分で納得できる施設を決め、106歳までのプランを決めておられるようです。しかもパソコンを操作して、VG 槻輪への投稿や写真挿入なども見事にされておられることを知りビックリです。私自身、パソコンへの取り組みは、年齢的に半ば諦めの心境でしたがMさんのことを知り、これからの目標になりました。

**まとめ 人生会議とは・・・**

- 本人と家族と医療者の面が考えられる協議を達成するための会議
- 「これから自分の人生の目標・望み(エベレスト)を考えておきましょう。
- 「今は決めたくない」「考えたくない人には無理強いしない。
- 自分の意思を大切な人に何度でも伝える機会です。

記・奥田 美智子